



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年7月3日 第26号

発行者：校長 菅野 定行

## 防災体験学習 その2



〈6月29日避難訓練本部〉

### ◇1年2組 高橋 聖那 さん

今回の避難訓練は昨年よりも3分ほど時間が短縮されましたが、現実にかかることを考えるとさらに速い移動が求められると思いました。

移動中は多少の話し声や笑い声もあったように感じました。緊張感がなく、このような状況で周りの行動が見えなかったり聞こえなかったりするのです、次回は気をつけたいと思いました。

## 防災講話 ～親の思い～

6月29日（金）に防災体験学習が行われました。2学年では、本校PTA会長・沼田利恵さんと本校PTA監事・山縣嘉恵さんの二人から講話をいただきました。

沼田さんは「思い出したくはないけれども、前に進むために必要なこと」としてお話してくださいました。震災時に現場責任者として仕事をしていた、「現場責任者の立場と親の立場のどちらを優先するべきか」に葛藤したという内容でした。沼田さんが言うように、「家族のことを考えていたけれど、すぐに駆けつけることはできなかった親もいること」、「家族が二の次になってしまったこと」、「家族が第一だけれど目の前に人がいれば、その場を離れられない状態だったこと」など、さまざまな状況で大人たちが震災と闘っていたことを生徒達は教わりました。西高生は当時まだ10歳に満たない年齢でしたが、震災から7年が経ち、あのとき気付かなかったことに気付かされた貴重な機会となりました。



〈講師の山縣さん（左）と沼田さん（右）〉

山縣さんは防災士の資格をお持ちで、東松島市HOPEのプログラムでインドネシアに渡航した経験があります。講話では、生徒達がリラックスできるよう仰向けになって、寝るように指示した後で、避難所は狭く、人が密集している場所であることを伝え、日常で想像することが大事だと話してくれました。私たちの身近にある歌で震災のことを伝承していくことも大切だと教えてくれました。そして、インドネシア（アチェ州）で誰もが知っている童謡のメロディーに山縣が歌詞を付けた歌をみんなで歌いました♪最後に「地域とのつながりを大切にする」、「自分の身を守ることが一番重要である」、「生きているだけでありがたいこと」を生徒一人一人に語りかけてくれました。

防災や命の大切さについて考えるきっかけになったと思います。貴重な時間をありがとうございました。

### ◇2年2組 中村 莉捺 さん

2年生全員がお二人のお話に聞き入りました。親は自分達が思っている以上に自分達のことを思ってくれていることを実感しました。貴重なお話をありがとうございました。



〈上級者の3年生は避難所運営 HUG〉